

池田高校 SSH 卒業生インタビュー
高校23期生 Gさん

(聞き手 数学科 佐伯)

1 まず、あなたは今どのようなお仕事(生活)をされていますか。仕事の場合は、よろしければお立場もお教えてください。

研修医

2 高校時代とはどういう研究をされましたか。

- ①自分で研究テーマを考え、火山灰の降灰の分布や地震による津波の研究
- ②先輩たちがやっていたアリの研究を継続研究として研究していた。

3 研究活動の上で、最も印象深かったことは何ですか。

グループ研究をしていて話し合いを繰り返し、研究が前に進んだときに大きな達成感を感じた。

また、発表では相手に伝わる発表を作るために繰り返し発表し、たくさんの助言をもとに研究発表がより良くなっていく感覚を覚えている。

4 そこで学んだことはどういうことだと考えますか。

自分だけでは考えつかないことを、発表会や助言をもらうことで新しい考え方をもとにさらに研究していくことで研究が深まっていく。自分の考えだけに凝り固まらないようにすることが大切だということを学んだ。

5 SSHの学びにより、科学的な感性や好奇心、思考力は伸びたと思われませんか。

はい。自分たちが研究したことによるものよりも、いろいろな研究発表を聞く機会が多かったため、科学的な好奇心や思考力は伸びたと感じます。校内発表はもちろんですが、いろいろな発表会に参加し、たくさんの研究を聞くことができ良かったです。

6 プレゼンテーションやわかりやすく話す力や表現力は付いたと思いますか。

はい。発表する場を重ねることで一方的に発表する力よりも質疑応答の対応力が身についた。大学でもディスカッション形式の授業があるが、SSHでのプレゼンテーションによって困ることがなかった。現在の仕事でも会議で発言する機会があるが、仕事にも高校時代の経験が生きていると感じる。

7 高校時代が普通の教科学習だけ終わったとしたら、どう違ったと思いますか。

私は海外で研究する機会、県外で発表する機会もたくさんいただけのおかげで視野が広がった。また、そのような大きな場に立たせてもらえる機会はSSHがなければ自分は経験することができなかったと思う。

8 SSHの学びは、あなたの理系選択に影響しましたか。また、研究したことで学習意欲は高くなったと思いますか。

もともと医学を学びたいと思っていたので影響はなかったです。しかし、英語のプレゼンテーションを実施したことでもっと英語で伝えたいと考え、英検やTOEICを受けようと勉強したのを覚えています。

9 現在どのような生活を送っていますか。研究(仕事)はどんな様子ですか。今の自分に役立っているところはどんなところと考えますか。

研修医としてたくさんの医療を学んでいます。その医学の研究などで周りの人と違い、新しいことを調べることにに対して抵抗がないと感じます。

10 今後の池田高校のSSHについてどう考えますか。期待することなどを教えてほしい。

高校で研究する機会は本当に貴重でした。積極的に研究に取り組んで、挑戦して欲しい。どんな研究もやって無駄になることはないので、がむしゃらに頑張ってもらいたい。そして、その自分がした研究活動が直接的ではなくも、進路につながることも多いと私は思います。